

2010年フットサル競技規則の改正についての補助資料

(社)新潟県サッカー協会

4種委員会審判部

8月10日付で(財)日本サッカー協会より通達があった「2010年フットサル競技規則の改正」について、補助資料を作成しました。各大会において大会運営者とチーム関係者でご確認の上、適用をお願いします。尚、この資料はフットサル競技規則を一部抜粋した解説ですのでご了承ください。

第1条 ピッチ

●第2ペナルティーマークからのフリーキックが行われるとき、最小限マークから離れる距離を示すために、第2ペナルティーマークの左右、それぞれ5mのところ²に2つの追加マークを付けなければならない。このマークの幅は、8cmである。(※6cmからの変更)

第2条 ボール

ボールの空気圧を以下のように変更する。

海面の高さで、0.6~0.9気圧(600~900g/cm²)(※今までは0.4~0.6気圧)になった。

現状は、ボールの規格が~0.6気圧なので0.6気圧で対応する。

第3条 競技者の数

●いずれかのチームの競技者が3人未満の場合、試合を開始することができない。(※5名からの変更)

第6条 副審

*従来はタイムキーパーおよび第3審判。副審を「第3審判、タイムキーパー」とし、審判の表記も「主審・第2審判・第3審判・タイムキーパー」の順となった。

●前後半の前にタイムアウト要求のための用紙をチーム役員に渡し、各ハーフ、タイムアウトの要求がなかった場合、各ハーフ後その用紙を回収する。

●両チームのチーム役員は、第3審判に対し、または第3審判がいない場合はタイムキーパーに対して、1分間のタイムアウトを配付されたタイムアウト要求用紙を用いて要求することができる。

●退場を命じられた競技者に代る交代要員がピッチに入場できる時間を示す用紙をチーム役員に手渡す。

●交代要員は退場になった競技者に変わることができ、退場2分間完全に経過したときに、タイムキーパーまたは第3審判(副審)の承認を得てピッチに入ることができる。

Time Out



(財)日本サッカー協会
Japan Football Association

交代要員は、 前半 後半
試合時間の残り 分 秒に
ピッチに入ることができる



(財)日本サッカー協会
Japan Football Association

第7条 — 試合時間

前後半の終了

●タイムキーパーは、笛やその他の音で前後半（延長の前後半を含む）の終了を知らせる。タイムキーパーの笛やその他の音を聞いた後、主審、第2審判のいずれかが、次の点を考慮しつつ、笛を吹いて前後半、または試合の終了を告げる。

*従来どおり、主審・第2審判はタイマーのブザーを聞いて、試合を終了する。例外として、ペナルティーキック及び第2ペナルティーキックについては「そのキックが終了するまで」となっていたが、以下の通りの変更が行われた。

シュート	→ 終了のブザー がなったとき、ボールがピッチ内にある場合、	
直接ゴールイン		得点を認める
GK、ゴールポスト、クロスバーに触れてゴールイン		得点を認める
壁なしFK、PKとなる反則		壁なしFK、PKを行う
GK、ゴールポスト、クロスバーに跳ね返り、ゴールせず		終了
壁なしFK、PKとならない反則		終了
守備側GK以外の競技者が触れた、止めた		終了
ボールが境界線を越えた		終了

第8条 — プレーの開始及び再開

キックオフからは、直接得点することができない。（U-15については、以前と変更ありません。）

第12条 — ファウルと不正行為

（削除）スライディングタックルにあたる条文

*日本協会の解説文書に「直接フリーキックに値する反則については、まったくサッカーと同じになり、スライディングタックルも“不用意に、無謀に、または過剰な力を用いて”行わない限り、認められることになった。ただし、無謀さ等については、フットサルが床の上で、かつ限られたプレーイングエリア内でプレーされることを十分に考慮する必要がある。」とあるので、しっかりと見極める必要がある。

- | | |
|-------------------------------------|-------------------|
| (1) きれいにボールだけにいっている | → ノーフアウル |
| (2) 旧ルールではアドバンテージをしなくてはいけない | → ノーフアウル |
| (3) ボールに行くのと同時に足をトリップしている。不用意なファウル。 | → ファウル |
| (4) 無謀なタックル | → ファウル（警告） |

間接フリーキックで罰せられるファウル（※バックパス）

ゴールキーパーが次の4項目の反則を犯した場合、間接フリーキックが相手チームに与えられる。

●ボールをプレーしたのち、相手競技者がプレー、または触れていないにもかかわらず、ピッチの自分自身のハーフ内で、味方競技者によって意図的にゴールキーパーにキックされたボールに再び触れる

* GKから出た後のプレーで、自陣で味方からのパスを受けることがNG。（必ず相手競技者にふれることが条件）ボールが基準になるので、必ず相手陣地にボールが100%ないといけない。

例えば、GKから出されたボールが相手競技者に触れられることなく、意図的にゴールキーパーにキックされたボールに対し、（ゴールクリアランス及び相手陣でのGKによるキックインなども含む）

(1) 味方競技者より自陣から出されたボールを <u>相手ハーフ内で受ける。</u>	→ 問題なし
(2) 相手陣内から出された味方競技者からのボールを <u>自陣ハーフ内で受ける</u>	→ 間接FK
(3) 自陣内にいるGKが、足を伸ばして <u>相手ハーフ内にあるボールに触れる</u>	→ 問題なし
(4) 相手ハーフ内にいるGKが足を伸ばして <u>自陣ハーフ内のボールに触れる</u>	→ 間接FK
(5) <u>相手陣でパスを受けた後GK自身がドリブルで自陣に運ぶ</u>	→ 間接FK

第13条 - フリーキック

違反と罰則

フリーキックを行うチームが4秒を超えて時間を費やした場合、

- 主審・第2審判は相手チームに、試合が再開されるはずであった場所から行われる間接フリーキックを与える（第13条—フリーキックの位置、参照）

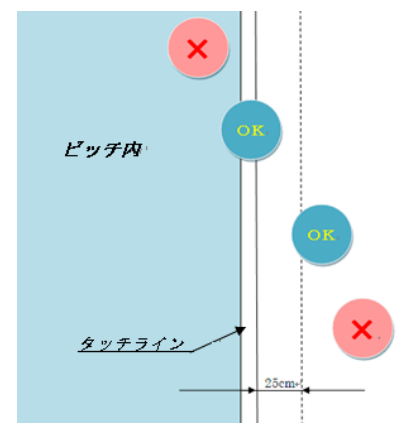
* 4秒ルールが適用されるものに、従来の①GKのボールコントロール、②フリーキック、③キックイン、④ゴールクリアランスに加えて、⑤壁なしのフリーキック、第2PK が加えられた。

第15条 - キックイン

キックインの位置

ボールをける競技者は、

- いずれかの足の一部をタッチライン上、またはタッチライン外のピッチ面につけ、
- ボールがピッチから出た地点、またはピッチ外で、その地点から25cm以内の場所から、必ず静止したボールをける。
- ボールは、ける準備ができてから4秒以内にける。



第17条 - コーナーキック

違反と罰則

コーナーキックが4秒以内に行われなかった場合、

- ゴールクリアランスが相手チームに与えられる。（※間接フリーキックからの変更）

【補足】 U-15 競技会に適用されるゴールキーパーのプレー制限について

(2010年3月29日通達 4月1日施行)

第12条 - ファウルと不正行為

(財) 日本サッカー協会の決定

日本サッカー協会などが行う15歳以下のフットサル競技会においては、次の規則を適用する。

ゴールキーパーが手で投げた後、または足でけた後、ボールが競技者に触れるかプレーされる、あるいはピッチ面に触れる前にハーフウェーラインを越えたときは、相手側チームに間接フリーキックを与える。

間接フリーキックは、ハーフウェーライン上の任意の地点から行われる。

第16条 - ゴールクリアランス

(財) 日本サッカー協会の決定

日本サッカー協会などが行う15歳以下のフットサル競技会においては、次の規則を適用する。

ゴールクリアランスされた後、ボールが競技者に触れるかプレーされる、あるいはピッチ面に触れる前にハーフウェーラインを越えたときは、相手側チームに間接フリーキックを与える。

間接フリーキックは、ハーフウェーライン上の任意の地点から行われる。

◎インプレー中のゴールキーパーによる手でのボールの扱いは、従来と変わりありません。

◎インプレー中のゴールキーパーによる足でのボールの扱いは、以下の通りとなります。

- ・手からボールを離れた後、足でけた。(4秒以内) そのボールが一度自陣のピッチに触れ相手ピッチに入った。
- ・ゴールキーパーが自陣よりグラウンダー (ゴロ) でシュートした。
- ・ゴールキーパーがドロップキックしたボールが一度自陣のピッチに触れ相手ピッチに入った。

→ **罰則なし**

- ・手からボールを離れた後、足でけた。(4秒以内) そのボールが誰にも触れず直接 (ノーバウンド)相手ピッチに入った。
- ・ゴールキーパーが自陣よりシュートし、ノーバウンドで相手ピッチに入った。
- ・ゴールキーパーがパントキック、ドロップキックしたボールが誰にも触れず直接 (ノーバウンド)で相手ピッチに入った。

→ **ハーフウェーライン上の任意の地点より、相手チームの間接フリーキックで再開**

◎ゴールキーパーによるキックイン、フリーキックについても誰にも触れず直接 (ノーバウンド)で相手ピッチに入った場合は、相手チームの間接フリーキックとなります。

【資料1】 タイムアウト要求用紙

タイムアウト要求用紙

Time Out



(社)新潟県サッカー協会 4種委員会

【資料2】 退場を命じられた競技者に代る交代要員がピッチに入場できる時間を示す用紙

交代要員は、 前半 後半
試合時間の残り 分 秒に
ピッチに入ることができる



(社)新潟県サッカー協会 4種委員会